6 軒天

6－3 納まり詳細図

8）軒天5 標準施工法

●下地組み

野縁梯子組：軒の出方向は軒元・軒先に、軒の幅方向は303㎜以下の間隔で野縁（30×40㎜以上）を組みます。

軒天材の左右接合部は野縁2本組みとします。

軒の出が500㎜を超える場合、軒の出@500㎜以下に吊り木（吊り木@1000㎜以下）で吊ります。

●下地の不陸がないよう調整施工し、不陸のある場合は修正します。

※ボルト頭や下地組みの不陸・ねじれなどは仕上がりに影響するばかりでなく、無理な施工から軒天材の破損をまねくおそれがあります。

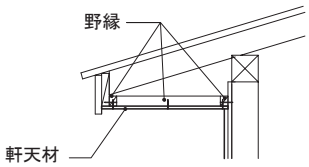
●軒天材の切断はオールダイヤモンドチップソーを使用します。

●軒天材の留め付けは専用釘（ステンレスリング釘φ1．9㎜×32㎜）を用い、

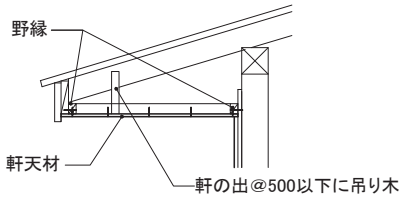
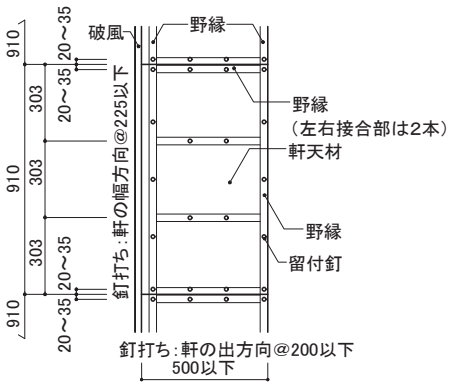
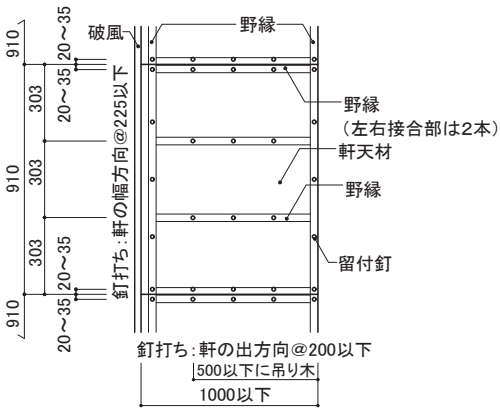
野縁梯子組：軒の幅方向は225㎜以下の間隔で、軒の出方向は200㎜以下の間隔で留め付けます。

●軒天材端部の釘打ち位置は端あき20～35㎜とします。

軒の出が500㎜以下の場合



軒の出が500～1000㎜以下の場合



野縁梯子組